

調査研究の経過について

- ◎ 前回の総合政策審議会における審議事項「中長期的な社会経済の見通しを踏まえ、今後目指すべき将来像について」を踏まえ、3分野の研究会を立ち上げた。
- ◎ 各研究会では、今後大きな変化が見込まれる社会環境の主要要素とその変化の方向性を検討したうえで、今後研究を掘り下げるテーマを設定した。

調査研究の切り口（前回審議会の資料5論点3）

今後研究を掘り下げるテーマの設定

1 山形ならではのライフスタイル

ライフステージに応じた魅力度の高いライフスタイルをどのように描くか。また、それを地域にどのように展開していくか

（調査研究内容の例）

- 地域の歴史や風土に根ざしたライフスタイル
- 子どもの可能性を引き出す教育
- 若者の価値観を大切にしたライフスタイル
- 寿命100年時代に向けた県民の能力発揮

2 付加価値を生み出す産業

どのようにして地域の潜在能力を結集・発揮するとともに、イノベーションを創出し、産業の付加価値を高めていくか

（調査研究内容の例）

- IoT、AI等を活用した生産性の向上
- 観光をはじめとするサービス産業の高付加価値化
- 産業界のニーズに応じた産学官金の連携による人材育成
- 産業人材育成に向けた学びの受け皿づくり（農業分野などでの専門職大学の設置等）
- 地域資源の活用によるベンチャー創出の活性化に向けた環境づくり
- 市場ニーズに応じた付加価値の高い農業生産
- 産業間の連携による農と食の高付加価値化

3 多様な交流が根付く地域社会

ヒト・モノ・情報・サービスの流動拡大により多様な交流をどのように促進していくか

（調査研究内容の例）

- 地域コミュニティの中核を担う人づくりと大学、企業等との連携
- 地域資源や環境資産を活用した新ビジネスの創出
- 圏域間の連携強化に向けた方策
- IoT等先端技術の物流サービスへの活用
- 広域交通ネットワークの整備による交流拡大

1 ライフスタイル研究会

(1) ライフスタイルに影響を与える主要要素を抽出

長寿命化

人生が長くなり、ライフコースの選択性が高まる

世帯規模の縮小

家族の機能が弱くなっていき、社会関係も薄くなっていく

人口構造の変化

社会の活力源である若者の数が減っていく

価値観の変化

暮らしの質や心の豊かさを重視する人が増えていく

(2) 研究会におけるテーマ

①人生100年時代の到来

⇒多様なライフコース、生涯現役、生きがい、能力発揮

②世帯規模の縮小と社会関係の希薄化

⇒地域のつながりの再構築

③次代を支える若者の減少

⇒若者のライフデザインの希望の実現

④ライフスタイルの変化

⇒山形の文化・風土の価値を活かしたライフスタイルの展開

2 未来の産業研究会

(1) 未来の産業に影響を与える主要要素を抽出

ICTを核とする技術の飛躍的な進歩

ICTの活用により生産性が向上し、革新的な製品・サービスが創出される

働き方の変化

人手不足が深刻化していくなか、AI等による労働代替も生じ、労働者に求められる能力が変化していく

グローバル化の進展

新たな消費市場（需要）の取り込みが重要になる

(2) 研究会におけるテーマ

①第4次産業革命

⇒市場の変化を先取りし、新たな価値を生み出す産業の創出

②就労構造の変化

⇒就労機会（働く場）の確保

③ビジネスターゲットの拡大

⇒戦略的な輸出の促進やインバウンドの拡大

3 圏域形成研究会

(1) 地域社会（圏域）に影響を与える主要要素を抽出

情報通信網や交通ネットワークの進展

通信や移動の利便性が高まったことで、自らの生活の場を自らの価値観で選択できる人々が増える

資源・財政・環境制約への対応の多様化

社会資本の整備や維持にあたり、資源や財政、環境等の制約への対応が多様化し、ハードルが上がる

交流ニーズの拡大と複雑化・高度化

ヒト・モノ・情報の交流ニーズが拡大するとともに、それぞれのニーズが複雑化・高度化する

ICTが社会に与えるインパクトの拡大

デジタル空間のネットワークの拡大が実社会（暮らし・産業）に与える影響の度合いが増していく

(2) 研究会におけるテーマ

①暮らしや就業に対する人々の行動の多様化

⇒地域の魅力や価値の向上と発信

②社会資本整備や維持の考え方の変化

⇒民間活力等の活用等、社会資本の維持の最適化

③交通ネットワーク整備の必要性の高まり

⇒道路・新幹線等の整備や地域交通の充実

④ICTの地域社会への実装

⇒暮らしや産業におけるICT実装の効果の最大化